

金山町ネイチャーポジティブ宣言

金山町は、古くから農林業を基幹産業とし、町の誇りである「金山杉」を活かした、金山らしい街並みや自然環境を保ち、後世に引き継ぐ、持続可能な地域社会を創造、推進する取り組みを行ってきました。

現在、地球規模で自然環境の劣化が進み、気候変動等による災害や、生物多様性の喪失が世界的な課題となっています。

2022年国連において「ネイチャーポジティブ（自然再興）」が目標設定され、我が国においても「生物多様性国家戦略」として位置づけられました。

当町においても2022年にゼロカーボンシティ宣言による脱炭素社会の実現を目指し、身近な町民生活から環境保全の活動を進めています。

また、全国植樹祭の開催を期に町の木として金山杉、ブナ、ヤマボウシを定め、町制100周年を迎えた2025年には町の花としてカタクリ、町の鳥としてクマタカを選定しました。特に絶滅危惧種であるクマタカが町の鳥として生息できる環境の維持は、ひいては町民の豊かで持続可能な暮らしにつながるものでもあります。

私たちはこれまで、町が取り組んできた様々な施策による豊かな自然環境を維持し、持続可能なまちづくりをさらに進めるため、ここに「ネイチャーポジティブ宣言」を行います。

- ・ 生物多様性がもたらす恵みとそれによる町民の幸福を守るため、生物多様性に配慮した社会の実現を目指します。
- ・ 金山杉をはじめとする森林資源を活かし、自然環境がもたらす恩恵に感謝し、自然豊かな町として維持発展を図ります。
- ・ 生物多様性の重要性に気づき、自然と共生する農林業を主とした地域社会とゼロカーボンシティの実現を目指すため、日常生活の様々な場面での普及啓発等を行います。

2026年1月1日

金山町長

佐藤英司